

令和7年7月25日

英国王立鳥類保護協会

最高経営責任者 ベッキー・スペイト 様

公益財団法人日本野鳥の会

理事長 遠藤 孝一 様

公益財団法人日本自然保護協会

理事長 土屋 俊幸 様

世界自然保護基金（WWF）ジャパン

会長 末吉 竹二郎 様

公益社団法人大阪自然環境保全協会

代表理事・会長 夏原 由博 様

NPO法人バードリサーチ

理事長 高木 憲太郎 様

日本野鳥の会大阪支部

支部長 納家 仁 様

大阪都市計画局

局長 尾花 英次郎

大阪港湾局

局長 中小路 和司

大阪市環境局

局長 井原 優子

5月29日付け英国王立鳥類保護協会及び日本の自然保護団体からの共同書簡につきまして、在大阪英国総領事館のマイケル・ブライス総領事を通じて、別紙のとおりお答えいたします。

書簡に記載されております夢洲については、経済界・大阪府・大阪市で策定しました「夢洲まちづくり構想」（平成 29（2017）年策定）及び「夢洲まちづくり基本方針」（令和元（2019）年策定）に基づき、国際観光拠点の形成をめざすこととしております。

さらに、2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の跡地となる夢洲第 2 期区域については、大阪・関西万博の理念を継承したまちづくりを進めることとしており、本年 6 月には「夢洲第 2 期区域マスタープラン Ver. 2.0（案）」を取りまとめたところです。その中で、まちづくり方針の一つに、SDGs 未来都市の実現を掲げ、「カーボンニュートラル、都市の自然生態系の形成等の環境対策により、SDGs の実現に向けた未来都市を創造」するとともに、水とみどりあふれる空間形成として、「まちの骨格や建築敷地内のパブリックスペースにおいて、SDGs の達成に向けた環境共生などに配慮しながら適切に水・みどりを配置し、うるおい・憩いを享受できる空間の形成」を図ることとしております。

書簡につきましては貴重なご所見として参考とさせていただきますながら、マスタープラン等に沿って、夢洲のまちづくりを進めてまいります。